

# 南風原町地域エネルギービジョン

## 概要版



平成26年3月

南風原町

## 再生可能エネルギーはなぜ必要？

### ①エネルギー問題

- 私たちの生活を支えるエネルギーのほとんどは、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料からつくられています。
- 現在のペースでエネルギー消費が進むと、石油は約40年で枯渇するという説もあります。

### ②地球環境問題

- 石油などの化石燃料の消費によって二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)をはじめとする温室効果ガスが増えて地球温暖化を引き起こすといわれています。

### ①エネルギー問題と②地球環境問題 の2つを同時に解決

より一層の地球温暖化対策の推進を図り、持続的に利用可能なエネルギーとして、再生可能エネルギーの積極的な導入促進のため、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの有効活用に関する総合的、実践的な「南風原町地域エネルギービジョン」を策定します。

## 再生可能エネルギーとは？

再生可能エネルギーとは、石油や石炭の代わりに自然の力を利用したエネルギーや今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効利用するなど地球にやさしいエネルギーのことで、再生可能エネルギー導入は、新規産業・雇用の創出や電力の負荷平準化(ピークカット効果)等にも貢献します。

また、再生可能エネルギーは、自然の恩恵と人間の知恵で作り出すことのできるエネルギーであり、地域特性や地域のエネルギー資源を活かした地域レベルでの取り組みが可能です。

### 太陽エネルギー

太陽の光や熱エネルギーを利用して電気や温水をつくります。



### 風力発電

風力で風車の羽根をまわし、その回転運動で発電します。



### 中小規模水力発電

中小河川や用水路などの小さな高低差を利用して発電します。



### バイオマスエネルギー

農作物や木質材料、ごみなどからエネルギーをつくります。



### スマートコミュニティ・クリーンエネルギー自動車

再生可能エネルギーと同様に力を入れていくべき対策として、エネルギーを効率的に利用するスマートコミュニティの取り組みや、電気などのクリーンなエネルギーで動くクリーンエネルギー自動車があります。



## 南風原町ですでに利用されている再生可能エネルギー

### 太陽光発電



新川コミュニティセンター



一般住宅

### 一般廃棄物発電



那覇・南風原クリーンセンター

### バイオマス燃料（廃油の利用）



町内で回収されたてんぷら油等は再資源化し、パッカー車、給食配給車の燃料等に活用されています。

### クリーンエネルギー自動車・電気バイク

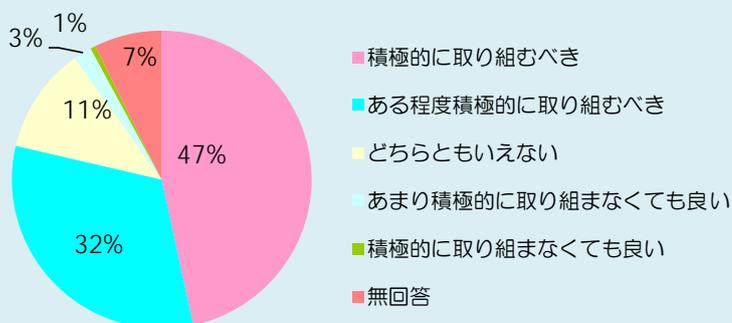


## アンケート調査の結果

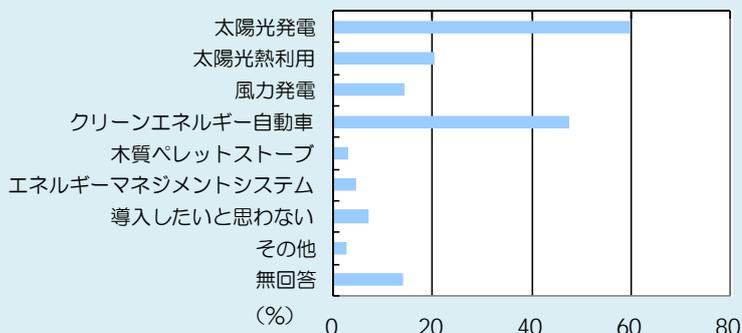
南風原町で再生可能エネルギーを導入することについて、町民・事業者アンケートを実施しました。調査結果は以下のとおりです。

### 町民

地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入について、約8割が積極的に取り組むべきと回答しています。



今後、導入したい再生可能エネルギーとして、主に太陽光発電（60%）やクリーンエネルギー自動車（47%）があげられました。

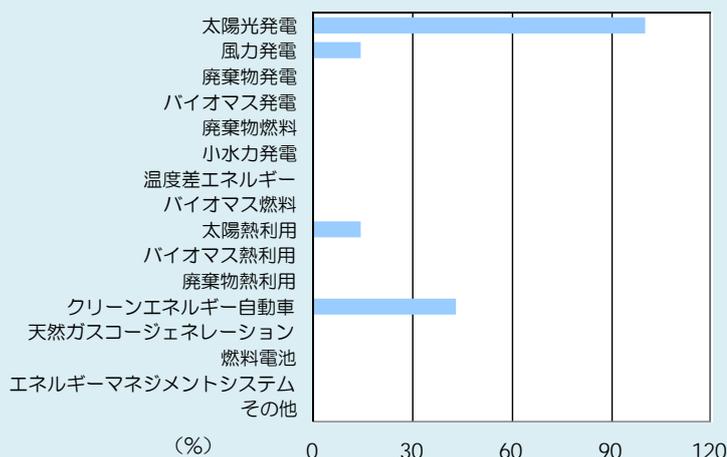


### 事業者

地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入について、約8割が積極的に取り組むべきと回答しています。



今後、導入したい再生可能エネルギーとして、主に太陽光発電（100%）やクリーンエネルギー自動車（43%）があげられました。



## 南風原町で期待できる再生可能エネルギーの量

南風原町で利用可能な再生可能エネルギーは、合計で 28,686,605 メガジュール、電力に換算すると約 8,000 メガワットアワーで、約 2,222 世帯分の電力をまかなう量と同じです。

(1 世帯あたりの電力消費量を 3,600kWh/年として計算)

種別	再生可能エネルギー	利用形態	利用可能量	MJ 換算
太陽エネルギー	太陽光発電	電気	52,866 千 kWh	190,318
	太陽熱利用	熱	7,027GJ	7,027,000
風力エネルギー	風力発電	電気	9,198 千 kWh	33,113
中小水力エネルギー	水力発電	電気	49 千 kWh	175
バイオマスエネルギー (未利用計)	農業残渣	熱	838GJ	838,000
	草本系	熱	4,896GJ	4,896,000
バイオマスエネルギー (廃棄物系)	木質系	熱	4,904GJ	4,904,000
	し尿・浄化槽 余剰汚泥	熱	43GJ	43,000
	食品バイオマス	熱	10,755GJ	10,755,000
合 計				28,686,605

## 再生可能エネルギーの将来像

今後の本町における再生可能エネルギーの将来像を以下のとおり設定します。

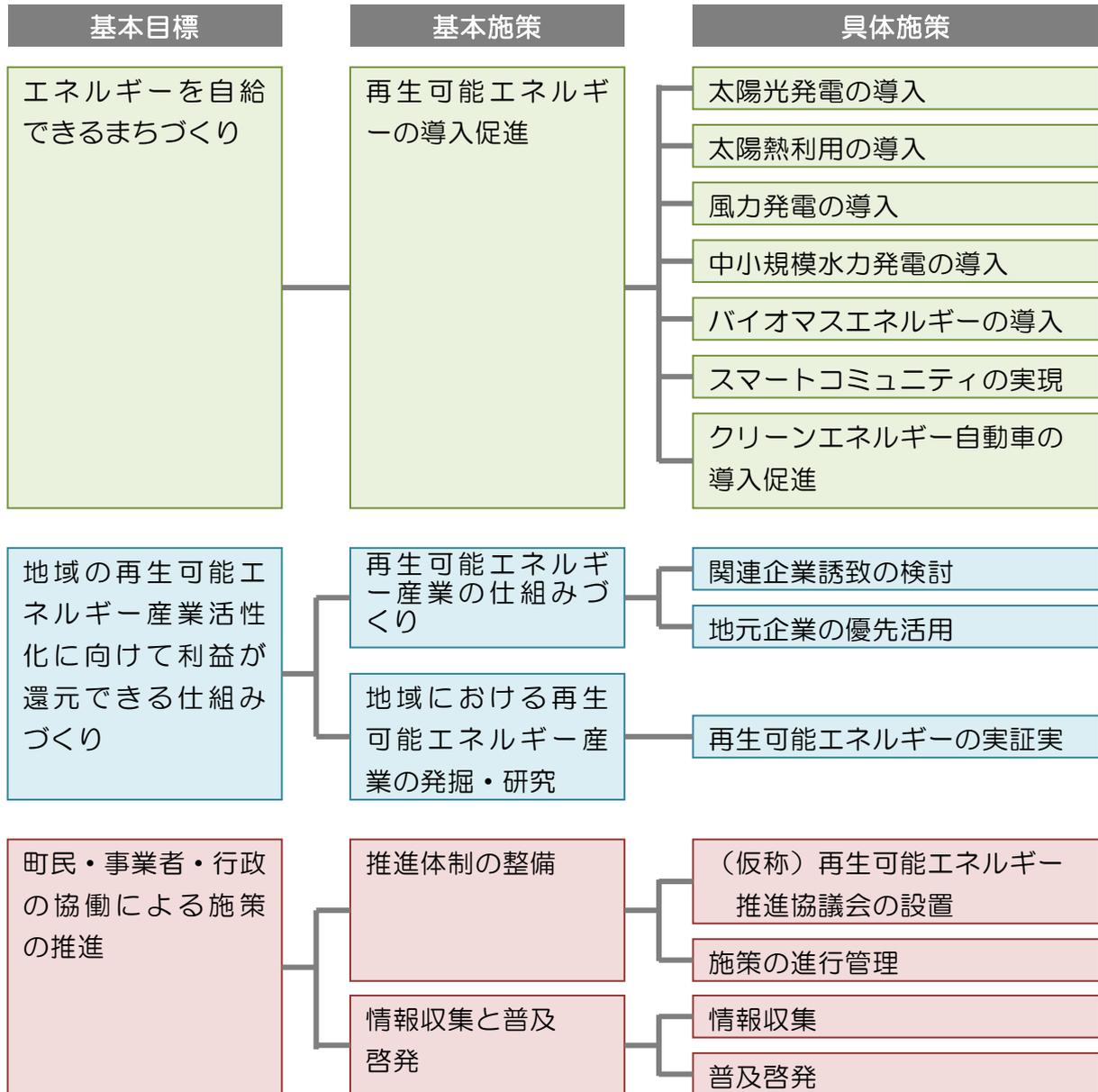
### 南風原町の特色を活かしたエネルギーの地産地消を推進するまちづくり

具体化に向けた取り組み像として以下の項目があげられます。

- 南風原町の公共施設への太陽光発電パネル設置
  - ・防災拠点となりうる施設（役場庁舎、中央公民館、文化センター、ちむぐくる館、各公民館等）、小中学校（環境学習も兼ねて）など。
- 公用車にクリーンエネルギー自動車を導入
- 観光関連施設への高速充電器の設置
  - ・役場庁舎、緋会館、文化センター、大型ショッピングセンターなど
- 畜産廃棄物利用のバイオマス利用施設の整備
- 家庭用太陽光発電パネル、蓄電池の普及
- 日頃の節電活動や様々な省エネルギーの導入等による省エネルギーの推進
- スマートコミュニティの実現（スマートメーター、エネファーム等）

# 再生可能エネルギー導入の基本方針

南風原町における再生可能エネルギーに係る施策は次のように設定します。





## 南風原町地域エネルギービジョン 概要版

発行日 平成 26 (2014) 年 3 月

編集発行 南風原町役場 産業振興課

住所：〒901-1195 南風原町字兼城 686

電話：098-889-4430

FAX：098-889-7657

ホームページ [http:// www.town.haebaru.lg.jp/](http://www.town.haebaru.lg.jp/)